

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	尼崎市立 成良中学校 職・氏名 教諭 中岡 禎雄	研究チーム名 ( 動物介在教育研究会 )
-----------------	-----------------------------	-------------------------

研究テーマ分類番号 ( 9 )

(1)研究テーマ
馬とのふれあいからの体感する命の教育
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>ホースセラピーの有効性を知る研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月2日(日) 洲本市の五色ホースクラブで開催された研修会に参加した。 (参加研究会員3名)</li> <li>・6月12日(土) 尼崎市立成良中学校で研修会を行った。</li> <li>・8月16日(月)～17日(火)に島根県浜田市のかなぎウエスタンライディングパークで身体障害を対象に行われたホースセラピー体験合宿にボランティアスタッフとして参加した。 (参加研究会員3名)</li> <li>・10月17日(日) 馬とのふれあいが人間に及ぼす効果について専門家による研修会を開催した。(参加研究会員6名)</li> <li>・10月23日(土)～24日(日)に島根県浜田市のかなぎウエスタンライディングパークで開催された全国障害者乗馬大会(日本障害者乗馬協会主催)のスタッフとして参加した。 (参加研究会員2名)</li> </ul> <p>〔活動の成果〕</p> <p>ホースセラピーに関わる多くの関係者や専門家と動物を介在した教育活動の効果について意見交換を行い今後の取り組みの参考になる知識を得ることができた。</p> <p>ホースセラピーに伴う技能を高める研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月17日(土) 三田市のラッキースターランチを訪ねホースセラピーに適した乗馬法の研修会を行った。(参加研究会員2名)</li> <li>・5月8日(土) 洲本市の五色ホースクラブにおいて馬上体操研修を行った。 (参加研究会員6名)</li> <li>・6月13日(日) 加古川市志方町の大浦牧場ホーストレーニングセンターで乗馬研修会を行った。(参加研究会員6名)</li> <li>・8月1日(日) 加古川市志方町の大浦牧場ホーストレーニングセンターで身体障害に対するホースセラピーの実技研修会を行った。(参加研究会員7名)</li> </ul> <p>〔活動の成果〕</p> <p>日本障害者乗馬協会のホースセラピー資格認定に必要な知識や乗馬法を身につけることができた。また馬とのふれあいを通して今後の動物介在教育の参考になるコミュニケーション能力を身につけることができた。</p> <p>ホースセラピー活動実践に対する研修や活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月11日(水) 洲本市の五色ホースクラブで成良中学校の生徒を対象に行う「馬とのふれあいから体感する命の教育」の実践計画会議を行った。(参加研究会員6名)</li> </ul>

- ・9月23日(木) 成良中学校の生徒を対象に行う「馬とのふれあいから体感する命の教育」の実践計画会議を専門家と連携して行った。(参加研究会員5名)
- ・10月11日(月) 加古川市志方町の大浦牧場ホーストレーニングセンターで「馬とのふれあいから体感する命の教育」の実践計画会議を行った(参加研究会員5名)

〔研修の効果〕

各研究会員がホースセラピーに対する安全面や対象者とのコミュニケーションの取り方などを意識しながら実践計画について検討を重ねることができた。

ホースセラピー活動実践

- ・10月18日(月) 成良中学校において専門家と連携して「馬とのふれあいから体感する命の教育」をおこなった。
- ・11月24日(水) 洲本市の五色ホースクラブにおいて兵庫県立淡路特別支援学校の中学部と高等部のホースセラピー体験専門家と連携して実施した。

〔実践の効果〕

成良中学校で行われた「馬とのふれあいから体感する命の教育」は尼崎市内の中学校の特別支援学級の参加も呼びかけて行うことができた。生徒は馬とのふれあいの中で馬の体の暖かさや、筋肉のしなやかさを知り、心を通い合わせようとする態度が見られた。また特別支援学級の生徒(市内の4中学校参加生徒27名)には本格的なホースセラピーを行い情緒の安定や、姿勢の改善などの効果が現れた。また不登校の生徒も参加し、普段は見られない笑顔で乗馬を体験し積極的な態度が見られるようになった。保護者からも命の尊さを実感できるこのような取組を続けてほしいという要望が寄せられた。

「馬とのふれあいから体感する命の教育」の啓発

- ・6月21日(月) 尼崎市武庫地区青少年補導員の研修会で動物介在教育の有効性について講演を行った。(対象者52名)
- ・6月29日(火) 東京都西東京市文教委員の視察を受け入れ動物介在教育の有効性について発表し啓発を行った。(対象者4名)
- ・8月31日(火) 尼崎市保護司会との懇談会を開き、動物介在教育の必要性和重要性について話し合った。(対象者20名)
- ・10月7日(木) 尼崎市中学校生徒指導研究協議会で動物介在教育の有効性について発表し啓発を行った。(対象者35名)
- ・10月20日(水) 宮城県石巻市市議会文教委員の視察を受け入れ動物介在教育の有効性について発表し啓発を行った。(対象者18名)

〔啓発活動の成果〕

児童生徒の健全育成や教育に対して意識の高い方々に、動物介在研究会の趣旨や、「馬とのふれあいからの体感する命の教育」実践活動での効果について発表することで活動の必要性や重要性を啓発することができた。

今後の課題

動物介在教育の意義や研究活動の趣旨を連携する専門家や団体と確認しあいながら取り組みを進めなければならない。また児童生徒の精神的、身体的な発達や改善に有効に働きかけるプログラムの開発のためには、研究会員が医学、心理学、動物学、人間学などの知識を深めていく必要がある。